

# 特定本邦航空運送事業者(※)に関する航空輸送サービスに係る情報公開(平成17年10~12月)のポイント

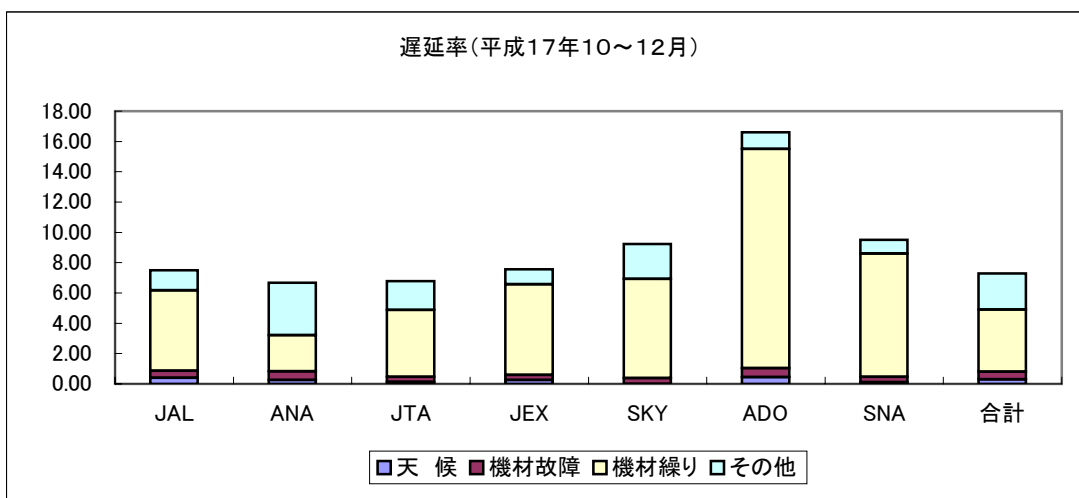
※日本航空(日本航空ジャパン、日本航空インターナショナル及びジェイエアを含む)、全日本空輸(エア・ニッポン、エア・ネクスト、エア・ニッポンネットワーク及びエア・セントラルを含む)、日本トランスオーシャン航空、ジャルエクスプレス、スカイマークエアラインズ、北海道国際航空及びスカイネットアジア航空

## 1. 輸送サービスの比較等に関する情報

### (1) 遅延率(平成17年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
7.29%	6.16%	1.13ポイント増加

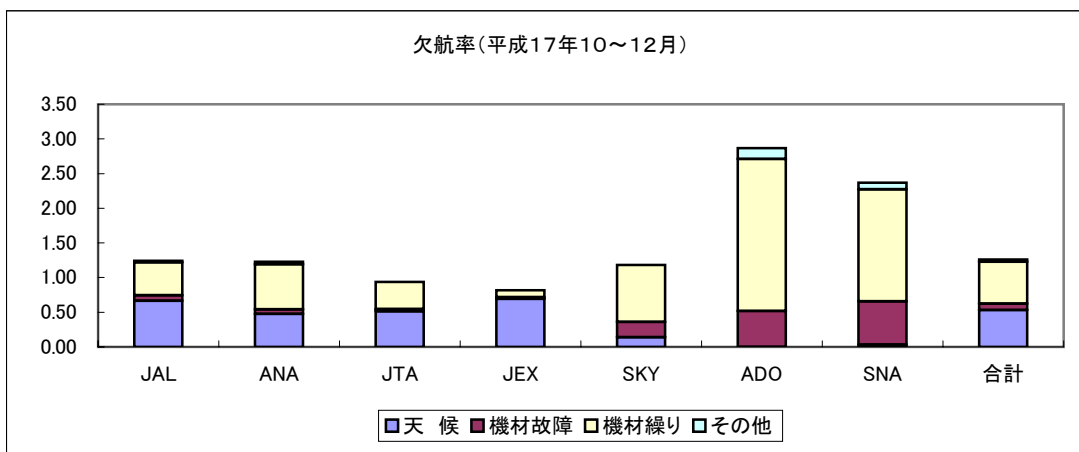
備考)「遅延便」とは、出発予定時刻より15分を超えて出発した便をいう。



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

### (2) 欠航率(平成17年10月~12月)

当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
1.26%	2.09%	0.83ポイント減少



※対象となっている路線が各航空会社によって異なっており、路線毎・季節毎に欠航・遅延の特性が異なることから、単純な比較には適さない。(夏期は沖縄路線等で台風の影響を受けやすく、冬季は北国等で積雪の影響を受けやすいなど。)

## 2. 運賃関連情報

### (1) 輸送実績(平成17年10月～12月)

項目	当期実績	前年同期実績	前年同期との比較
平均搭乗区間距離	891km	880km	1.3%増
輸送人員	2320万8901人	2267万8201人	2.3%増
輸送人キロ	206億7336万人キロ	199億6076万人キロ	3.6%増
旅客収入	3385億35百万円	3268億14百万円	3.6%増
輸送人員あたり 旅客収入	14.6千円	14.4千円	1.4%増
輸送人キロあたり 旅客収入	16.4円	16.4円	増減なし

### (2) 路線別データ(平成17年10月～12月)

#### ① 旅客数

上位5路線は次のとおり。

1位 東京＝札幌	220万1879人
2位 東京＝福岡	212万6542人
3位 東京＝大阪	171万6117人
4位 東京＝那覇	123万3721人
5位 東京＝広島	64万0807人
全路線	2314万0031人

#### ② 利用率

上位5路線は次のとおり。

下位5路線は次のとおり。

1位 関西＝帯広	85.5%	1位 大島＝八丈島	15.1%
2位 関西＝函館	80.7%	2位 中部＝福島	29.0%
3位 中部＝函館	78.5%	3位 札幌＝庄内	32.7%
4位 松山＝札幌	76.7%	4位 名古屋＝長崎	34.2%
5位 東京＝宮古	75.9%	5位 関西＝宮古	36.8%
全路線	64.2%	全路線	64.2%

### 3. フレックストラベラー制度(※)に関する情報

平成17年7～9月フレックストラベラー制度を有する航空会社又はグループの全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合(1万人あたり)が高かった上位3社は次のとおり。

(※)オーバーセールズ(搭乗手続きに来た予約客の数が提供座席数を上回る結果、座席を提供できない予約客が発生すること)の発生が判明した時点で、自主的に搭乗を取りやめる旅客を航空会社が幅広く募集する。

		全輸送人員に占める搭乗できなかった旅客の割合 (1万人あたり)	
		当期実績	前期実績
①	全日本空輸	0.24人	0.25人
②	北海道国際航空	0.09人	0.00人
③	日本航空	0.06人	0.05人
	全社平均	0.15人	0.14人